

事業活動実績報告書

施設名	あすなる幼稚園
教育理念	「さがそうよ、キラキラのじぶん」主体性・共生性・体力を育む

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	様々なスポーツをプロの指導で楽しもう
2 実施期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年3月31日

3 取組概要	<p>(取組日) 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>・隔週に一度、パパイヤ鈴木ダンスクラブ(セイハネットワーク)からの外部講師2人によるヒップホップをクラス単位で全学年体験する。満三歳クラスは1回15分、年少クラスは1回20分、年中クラスは1回30分、年長クラスは35分</p>	
	<p>(取組日) 令和5年11月24日 ~ 令和5年12月9日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>・2学期末に保育参加行事として、親子で通常の外部講師2人によるヒップホップカリキュラムをクラスごとに体験する</p>	
	<p>(取組日) 令和6年2月25日 ~ 令和6年3月4日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>・年度末に隔週で体験してきたヒップホップカリキュラムの1年間の集大成としてヒップホップ発表会を縦割りで開催し園のホールに保護者を招待して舞台の上でクラスごとのヒップホップを発表する。その際は出演する園児も、観覧する保護者も自分のクラスカラーを身に付けてきてよいというルールを設け、最後は外部講師4人のダンスを鑑賞して盛り上がる</p>	
	<p>(取組日) 令和5年11月6日 ~ 令和6年1月29日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>・11月6日(年長)・1月22日(年中)・1月29日(年少・満三歳クラス)の学年ごとにFC東京より指導者と選手を招き、プロのサッカー選手による実演と指導を体験する。当園グラウンドで行い、その様子を保護者の方に見学して頂く</p>	

3 取組概要	(取組日) 令和6年1月30日 ~ 令和6年1月30日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	・卒園児である現役幕内力士(飛猿関・剣翔関・大翔若関)を招き、四股の実演や力士との相撲、力士との綱引きなど全学年、クラスごとに体験する。年長のみ、その様子を保護者の方に見学して頂く	
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	

効果検証報告書

施設名	あすなろ幼稚園
教育理念	「さがそうよ、キラキラのじぶん」主体性・共生性・体力を育む

事業の区分(5領域)	健康 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	様々なスポーツをプロの指導で楽しもう
2 事業概要	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年3月31日

計画時	3 実施体制	<p>取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパイヤ鈴木主催のヒップホップスクールより毎週講師を2名招く 2学期末の保育参加ヒップホップでは講師を3名招く 3学期のヒップホップ発表会では4名のプロダンサーを招き、子ども達の発表と共にプロのダンスも鑑賞する ・FC東京より指導者と選手を招く。プロならではの技を目の当たりにしたり、プロの指導を受ける ・現役幕内力士2人とその付き人力士1名を招く
-----	--------	--

事業後	3についての効果・検証	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度よりコロナ禍では行っていなかった、保育参加としての親子ヒップホップ体験や年度末ヒップホップ発表会に保護者観覧を呼びかけることで職員の保護者受け入れ、誘導等の人的配置が必要になった。しかし、その分、保護者の方の本事業への理解が深まり、発表会も園児・保護者ともにクラスカラーを身に着け大いに盛り上がった。 ・FC東京より指導者と選手を招いての直接指導を全学年、保護者見学ありで開催できたことによる、職員の保護者受け入れ、誘導に人的配置が必要になった。 ・相撲大会にも年長保護者の見学を受け入れることで職員の保護者受け入れ、誘導に人的配置が必要になった。
-----	-------------	--

計画時	4 事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツのプロの実技を目の当たりにしたり、関わりから人間性に触れたり、直接指導を受けることでそれぞれのスポーツの持つ魅力に気づき、体を動かすことの楽しさや、好きなことを仕事にしているプロの考え方や知る
-----	----------	--

事業後	4についての効果・検証	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビなどのメディアでは目にする機会があっても、どこか他人事だったスポーツに対し本事業によって実際に触れ合い、言葉を交わし、人となりに触れ、好意を持つようになった相手がプロとしての姿や技を目の前で見せてくれること、実感することで、そのスポーツが自分事となり、その選手を積極的に応援したりそのスポーツを好きになって観戦に行ったり、習い事として始めてみようとする姿につながった
-----	-------------	---

5 取組の内容	<p>計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒップホップ講師は毎週火曜日、年間22回あすなろホールにて体験する。 2学期末には保育参加として親子でのヒップホップカリキュラムを体験(クラス単位) 3学期にはヒップホップ発表会は2月25日と3月4日に開催。 ・FC東京より指導者と選手によるサッカー体験会を開催。学年ごとにクラス単位でグラウンドにて直接指導を受け、模擬ゲームも体験する。 ・1月30日現役幕内力士(飛猿関・剣翔関)と付け人の大翔若関を招き、四股の実演や力士との相撲、力士との綱引きなど体験する
---------	---

事業後	5についての効果・検証	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から全ての活動を全学年を対象としたことから、満三歳クラスの子も達はどうアプローチするのか、懸念事項であり、工夫が必要だった。学年ごとに違う反応を見せてくれて、普段の園生活でサッカーに打ち込んだり、お相撲さんを目指して給食をたくさん食べるようになるなど、それぞれ、その後の保育活動にいかせていた。
-----	-------------	---

<p>6 環境構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒップホップを楽しむために、日常の園生活から振り付け等を積極的に取り入れる。発表会を楽しむために、事前に保護者にご協力頂き、園児も応援に来園する保護者も担任も当日は身につけるものにクラスカラーを取り入れて雰囲気盛り上げる。 ・FC東京の選手を迎えるべくグラウンド・控室等を整備しておく 子どもたちには事前に紹介DVD等を見せ、気持ちを盛り上げる ・現役幕内力士を迎えるべく、晴天の場合はグラウンドで開催のため素足の力士が怪我をしないよう小石を徹底的に排す。終了後の裸用のお風呂も用意する。 子どもたちには事前に「お相撲さんに聞きたいこと」を募りリストアップしておく。
<p>事業後</p>	<p>6についての効果・検証</p> <p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各担任の各講師を招く前の園児たちへの前準備・導入が当日をより満喫するために非常に効果的だった。 ・実際にクラスでお相撲大会しよう！、サッカーをクラス対抗で試合しよう！等の各担任の本事業後の通常園生活への経験を活かすアプローチが非常に効果的だった。
<p>7 期待される効果 児童の姿</p>	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踊ることで自己表現が出来ることを体で分かっているということは卒園後の自己表現、自己実現において大きな武器になる。 ・プロサッカー選手との出会いをきっかけにサッカーが好きになり、クラブチームに入ったり、体を積極的に動かすようになっていく。 ・今、来園している飛猿関・剣翔関も在園中の「力士と遊ぼう」で現役力士と出会ったことがきっかけと聞いている。 ・相撲に興味を持ち、場所中は家族で毎日一喜一憂して応援したり、東京場所に応援に行くようになったりした家庭も多い。
<p>事業後</p>	<p>7についての効果・検証</p> <p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相撲に興味を持ち、翔猿みたいになりたい！と給食をモリモリ食べるようになったり場所中は家族で毎日一喜一憂して応援したり、東京場所に応援に行くようになったりした家庭など、家族ぐるみの反響が大きかった。 ・選手が出場しているサッカーの試合を実際に観に行った家庭等の反響があった ・ヒップホップを卒業後も続けたいので習い事として始める声を聞いた
<p>8 効果検証 総括</p>	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <p>当園の特色の一つとして「全園児になりたい自分を自分で探してほしいから、園として目指すべき子どもモデルをもたない」という理念があります。</p> <p>本事業がその理念を「当園の一推しスポーツはコレ、と1つに絞らない」ことで、さらに具現化していると考えています。</p> <p>当園に縁のある方が様々なスポーツのプロであったことをきっかけに各界で実際に活躍する方と園児が実際に触れ合う機会を出来る限り多く、そして継続的に設けていくことで、子どもたちが様々なスポーツの魅力を感じ、体を動かすことにポジティブなイメージを持ったり、プロならではの心意気に触れたりして、視野が広がり、本事業を通して子どもの人生の選択肢をできるだけ広げることには貢献できたのではないかと考えています。</p> <p>また当園の根底にある、多様性を互いに認め合えることを目指す保育方針に呼応し、クラスの友達関係にマウントやヒエラルキーを作ることを良しとしないクラス経営の一助にもなったのではと考えています。</p> <p>そして、出会った人とのご縁を保育と園児に還元していく姿勢も、当園らしさとして継続していく所存です</p>